

# 第 14 回バスケットボール競技実施要項

## 1. 競技種目

バスケットボール競技(男・女)

## 2. 競技規定

大会開催年度の(公益財団)日本バスケットボール協会競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

## 3. 出場資格

(1) 出場方法の優先順位は次の通りとする

- ① 加盟団体単位で編成したチームとする。ただし、加盟団体単位でチームを編成することができない場合は当該ブロック内に限り、連合チームを編成することができる。
- ② 当該ブロックにバスケットボールチームがない場合に限り、他のブロックに加入することができる。ただし、当該ブロックから他のブロックのバスケットボールチームに加入できる選手は2人までとする。(連合チームを編成するものではない)

(2) コーチ、又はマネージャーが選手を兼ねる場合は選手名簿にも登録されていなければ、選手として試合に出場できない。

## 4. チームの編成

- (1) 1 チームの編成は、選手 15 名以内、スタッフ 6 名以内(部長 1 名・監督 1 名・コーチ 1 名、アシスタントコーチ 2 名、マネージャー 1 名)を含めて 21 名以内とする。
- (2) 全国ろうあ者体育大会『競技実施要項規定』内にある『監督』の任務は、コーチが行うものとする。
- (3) チームの構成
  - ① 同県の参加選手 5 人以上でチームを編成する。
  - ② ①で編成できない場合は当該ブロック内に限り連合チームを編成することができる。
  - ③ ②で編成できない場合はブロックを越えてチームを編成することができる。ただし、他のブロックから補強できる選手は2人までとする。それでも編成できない場合は、事情を確認のうえ、大会競技委員会において判断する。

## 5. 競技方法

- (1) 競技は、3 チーム以上の参加により実施する。原則的にトーナメント方式とするが、出場チーム数によってはリーグ戦とすることがある。
- (2) 本大会の出場チーム数は、地元代表チームを含めて 16 チーム以内とする。
- (3) 試合時間及び延長戦は、(公益財団)日本バスケットボール協会競技規則に準じる。
- (4) 試合の時間は、10 分のピリオドを 4 回行う。第 1 ピリオドと第 2 ピリオドの間、第 3 ピリオドと第 4 ピリオドの間に 2 分のインターバルをおく。ハーフタイムは 10 分とする。
- (5) 第 4 ピリオドが終わった時、両チームの得点と同じならば、1 回 5 分の延長時限を必要な回数だけ行う。各延長時限の前のインターバルは 2 分とする。
- (6) リーグ戦において、チームの順位は勝ち点(ポイント)によって決定する。ゲームに勝ったチームは勝ち点 2、負けたチーム(「ゲームの途中終了」も含む)は勝ち点 1、ゲームを没収されたチームは勝ち点 0 とする。3 チームとも勝ち点と同じになった場合は、ゴール・アヴェ

レンジ(得点/失点)を用いて順位を決定する。それでも順位を決定出来ない場合は、総得点の多いチームを上位とする。

## 6. 使用球

試合球は、男子は(公益財団)日本バスケットボール協会公認 7 号球、女子も同協会公認 6 号球とする。

## 7. 組み合わせ抽選

- (1) 監督・主将等合同会議において抽選を行う。
- (2) 男女とも前回優勝・準優勝チーム(6 チーム以上は 3、4 位とも)をシードとする。ただし、シード権チームが不出場の場合は、この限りではない。
- (3) トーナメントの場合、ベスト4チームのブロックに、同ブロックのチームが入らないように抽選を行う。
- (4) リーグ戦の場合は、(2)に準じて組み合わせを行う。

## 8. ユニフォーム

- (1) ユニフォームは、胸部と背中にユニフォームの色とはっきり区別できる単色の2桁以内の番号をつける。ただし、同一加盟団体内で「0」、「00」を同時に使用することは認められず、また、「07」のような番号は認められない。
- (2) ユニフォームは、チーム名及び都道府県名を胸部に明記し、着用すること。なお、都道府県名のみでも可とする。
- (3) ユニフォームは、淡色と濃色の 2 種類を用意し、組み合わせ番号の若いチームが淡色(白)を着用する。

## 9. チームベンチ

- (1) ベンチは、組み合わせの若い番号のチームがオフィシャル席に向かって右側とする。
- (2) 登録されたチーム関係者以外は、ベンチに入ってはならない。

## 10. 練習コート

チーム関係者以外の者は、ゲーム前のアップやハーフタイムの練習で、コートに入ることはできない。

## 11. メンバー表

- (1) 大会エントリーの変更は監督主将会議の受付までに提出があった場合のみ認める。
- (2) メンバー表は、前試合のハーフタイム(第 1 試合は開始 10 分前)までに本部席(メンバー表受付場所)に提出する。

## 12. 前試合が遅れた場合の処置

前試合が遅れた場合は、前試合終了 10 分後に試合を開始する。

## 13. 審判について

- (1) 審判の笛を知らせるために、バックボード上にパトライトを設置する。設置できない場合は、コートの各コーナーにフラッグ員(黄色または目立つ旗)を配置する。
- (2) 準決勝からは、(公益財団)日本バスケットボール協会公認 A 級審判員、もしくはそれに順ずる審判員を配置する。

#### 14. 注意事項

- (1) コートへ出る選手は、指輪・ネックレス・ヘアピン等、危険と思われるものは身に着けない。  
また、ひじ等の防具で、皮革・プラスチック・金属等、表面をやわらかい素材で覆ってあっても使用してはならない。
- (2) 補聴器の装用、ボディーペイントの使用は認めない。
- (3) 暴力行為及び審判に対する暴言等、マナー、モラルを遵守できない場合、大会本部で協議の上、処置する。
- (4) 選手は健康保険証を携帯すること。

#### 15. 本要項の改正

- ・ 一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・ 一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会
- ・ 一部改正 2006年2月19日 第8回全国委員会
- ・ 一部改正 2008年2月3日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2010年2月7日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2011年2月6日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2012年2月5日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2013年2月2日 第3回本委員会